



2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月2日

上場会社名 株式会社 平和堂 上場取引所 東
 コード番号 8276 URL http://www.heiwado.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 平松 正嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 谷川 善弘 (TEL) 0749-23-3111
 四半期報告書提出予定日 2020年7月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年2月21日~2020年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	101,114	△2.8	1,541	△38.5	1,733	△34.6	370	△75.3
2020年2月期第1四半期	103,974	△0.5	2,506	△10.9	2,651	△16.8	1,499	△29.6

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 △104百万円(-%) 2020年2月期第1四半期 1,600百万円(△27.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	7.06	—
2020年2月期第1四半期	28.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	291,716	158,978	53.8
2020年2月期	297,025	160,075	53.2

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 156,973百万円 2020年2月期 157,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	17.00	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年2月21日~2021年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	207,500	△2.7	4,000	△27.9	4,400	△24.9	2,400	△36.0	45.76
通期	429,000	△1.1	10,500	0.3	11,400	0.2	6,300	3.3	120.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	58,546,470株	2020年2月期	58,546,470株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	6,096,888株	2020年2月期	6,096,888株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	52,449,582株	2020年2月期1Q	52,449,873株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年2月21日から2020年5月20日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる各国の行動制限からの世界景気の急速な悪化の影響を受けました。国内でも2月27日に全国小中高校に臨時休校要請が出され、4月7日には政府の緊急事態宣言が7都道府県に発出されその後緊急事態宣言地域を全国へ拡大されました。5月25日に全国で緊急事態宣言が解除され、経済活動は再開したものの回復は鈍く、感染症第2波の発生も懸念され「新しい生活様式」のものの景気の先行きは不透明であります。

当小売業界におきましては、行動制限に伴う「巣ごもり消費」により食品中心に一部の押し上げ要因はありましたが、全般的には依然として厳しい経営環境が続いております。

以上の環境変化の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益1,011億14百万円(前年同期比2.8%減)、営業利益15億41百万円(前年同期比38.5%減)、経常利益17億33百万円(前年同期比34.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億70百万円(前年同期比75.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ53億9百万円減少し、2,917億16百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が20億56百万円、有形固定資産が13億85百万円、受取手形及び売掛金7億67百万円、投資有価証券が4億6百万円減少したこと等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ42億12百万円減少し、1,327億37百万円となりました。この主な要因は、資金調達コスト低減を図りコマーシャルペーパー(流動負債その他)が120億円、長期借入金が27億69百万円増加した一方で、短期借入金が138億28百万円減少したことと、手形決済廃止により設備関係電子記録債務が30億39百万円、支払手形及び買掛金が12億40百万円減少したこと等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ10億96百万円減少し、1,589億78百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が5億73百万円減少したこと等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想数値は、2020年4月2日公表時より変更ありません。変更しない理由は下記のとおりですが、新型コロナウイルス感染症の第2波が発生し営業時間の短縮や臨時休業等により業績に影響を及ぼす可能性があります。予想数値に修正が必要と判明次第速やかに開示いたします。

1. 小売事業[国内]について

中核企業である株式会社平和堂では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言以降、テナント家賃の減額対応や主な取扱い品目の中で衣料・住居関連の一部の需要が消滅した一方、食品・日用品中心の巣ごもり消費の影響で全体を押し上げ、営業収益910億32百万円(前年同期比2.7%増)、経常利益35億59百万円(前年同期比17.6%増)となりました。緊急事態宣言解除後の6月度の売上高は既存店前年対比103.6%で好調ですが、消費全体として落ちていくと予想し通期では前年並みを見込んでおります。

2. 小売事業[中国]について

中国湖南省における「小売事業」は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による臨時休業期間を含む1月～3月の業績を織り込み済みで、4月以降の売上高も前年対比90%以上と見込み通り回復しております。

また、3月31日には不採算店舗の「AUX(奥克斯)広場店」を閉鎖したことにより、運営費・管理費の負担が大きく減り利益改善に繋がっており、通期の見通しに修正はありません。

3. 小売周辺事業[国内]について

惣菜・米飯および生鮮品の製造加工を営む「株式会社ベストオーネ」は、新しく稼働した久御山センターにおいて人手不足と採用難により人件費が上昇し採算悪化しておりますが、堅調な食料品需要に支えられ製造数の増加とともに生産体制の改善が進んでおります。

また、富山県で大型ショッピングセンターを運営する「富山フューチャー開発株式会社」は、緊急事態宣言以降、休業により大きく売上高が減少しましたが、6月に入り売上高は前年対比70%以上まで回復しており、下期以降は徐々に客足が戻ることを見込んでおります。

なお、当該事業における営業収益の比率は1%程度であり連結業績に与える影響は軽微です。

4. その他事業について

国内飲食関連事業では、ケンタッキーフライドチキン等のファーストフードが依然、好調な持ち帰り需要に支えられ上振れしております。

また、緊急事態宣言以降、営業時間の短縮や休業により大きく売上高が減少したファミリーレストラン等の外食事業は、6月に入り売上高は前年対比70%以上まで回復しており、下期以降は徐々に客足が戻ることを見込んでおります。

なお、当該事業における営業収益の比率は3%程度であり連結業績に与える影響は軽微です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,528	20,472
受取手形及び売掛金	6,491	5,723
商品及び製品	19,867	19,790
原材料及び貯蔵品	175	163
その他	5,381	5,053
貸倒引当金	△5	△24
流動資産合計	54,439	51,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	93,870	92,647
土地	96,337	96,309
その他(純額)	9,127	8,992
有形固定資産合計	199,334	197,949
無形固定資産		
のれん	873	857
借地権	5,527	5,483
その他	3,630	3,456
無形固定資産合計	10,031	9,796
投資その他の資産		
投資有価証券	4,815	4,409
敷金及び保証金	20,412	20,387
繰延税金資産	4,440	4,510
その他	3,856	3,788
貸倒引当金	△305	△305
投資その他の資産合計	33,219	32,790
固定資産合計	242,585	240,536
資産合計	297,025	291,716

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,283	29,042
電子記録債務	408	98
短期借入金	29,907	16,079
未払法人税等	1,899	1,228
賞与引当金	1,378	2,545
ポイント引当金	7,482	7,556
利息返還損失引当金	75	73
閉店損失引当金	693	614
設備関係電子記録債務	3,463	423
その他	22,730	33,870
流動負債合計	98,323	91,534
固定負債		
長期借入金	16,805	19,574
退職給付に係る負債	8,681	8,535
資産除去債務	3,274	3,288
受入敷金保証金	8,925	8,888
繰延税金負債	71	71
その他	868	845
固定負債合計	38,627	41,203
負債合計	136,950	132,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,614	11,614
資本剰余金	19,748	19,748
利益剰余金	135,814	135,240
自己株式	△12,310	△12,310
株主資本合計	154,866	154,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,324	1,056
為替換算調整勘定	1,607	1,427
退職給付に係る調整累計額	170	196
その他の包括利益累計額合計	3,101	2,680
非支配株主持分	2,106	2,005
純資産合計	160,075	158,978
負債純資産合計	297,025	291,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年2月21日 至2019年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年2月21日 至2020年5月20日)
営業収益		
売上高	97,117	94,735
営業収入	6,856	6,378
営業収益合計	103,974	101,114
売上原価	68,796	67,381
売上総利益	28,321	27,354
営業総利益	35,178	33,732
販売費及び一般管理費	32,671	32,190
営業利益	2,506	1,541
営業外収益		
受取利息	78	72
受取補助金	53	69
その他	64	93
営業外収益合計	196	236
営業外費用		
支払利息	11	10
支払補償金	—	24
為替差損	32	2
その他	8	7
営業外費用合計	52	44
経常利益	2,651	1,733
特別利益		
閉店損失引当金戻入額	—	51
固定資産売却益	—	3
特別利益合計	—	54
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	—	189
固定資産除却損	36	36
閉店損失引当金繰入額	2	0
減損損失	10	42
投資有価証券評価損	—	21
その他	—	2
特別損失合計	49	293
税金等調整前四半期純利益	2,601	1,494
法人税等	1,063	1,168
四半期純利益	1,537	325
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	38	△44
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,499	370

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年5月20日)
四半期純利益	1,537	325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△185	△267
為替換算調整勘定	194	△189
退職給付に係る調整額	53	25
その他の包括利益合計	62	△430
四半期包括利益	1,600	△104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,552	△50
非支配株主に係る四半期包括利益	48	△54

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。